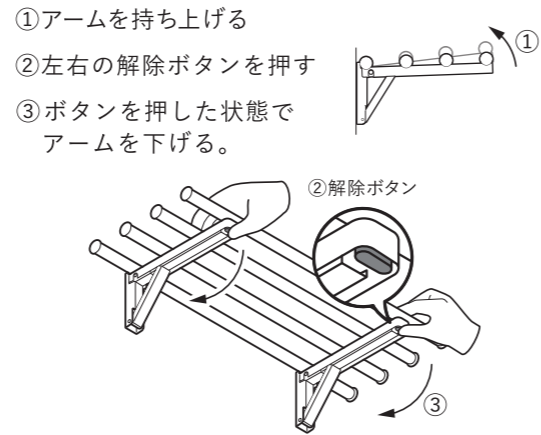


3. 取付け後の点検

右図を参考にしながら、展開状態から、ポールを上を持ち上げた状態で両側の解除ボタンを押し、ポールを畳み、下記の箇所を点検してください。

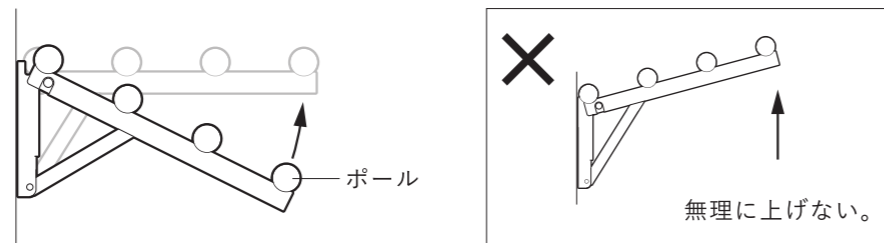
部品	確認事項
本体	▶ ぐらつかず、本体固定ネジが最後までしまっていること。
本体	▶ 本体が収納から展開まで動くこと。
解除ボタン	▶ 両側の解除ボタンを押し、本体が収納まで動くこと。



操作方法 ※操作時は、物をかけたり、乗せたりしていない状態で行ってください。 ※周囲に人や物がないか確認してください。

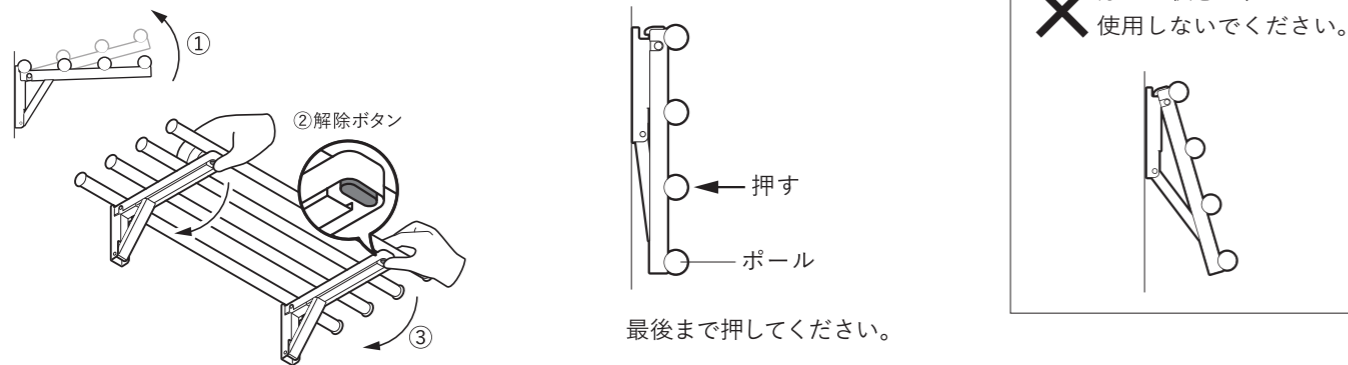
ポールの展開方法

ポールをゆっくりと持ち上げてください。



ポールの収納方法

アームを持ち上げながら先端ポール裏側の解除ボタンを両手で同時に押ししてください。その後、ポールをゆっくり下げて壁側に押しつけてください。



仕様

サイズ（収納時）：W 689 X D 60 X H 270mm
 サイズ（展開時）：W 689 X D 274 X H 135mm
 重量：約 1.6 kg
 耐荷重：8 kg

材質

ポール：アルミ押出型材（アルマイト + 塗装）
 ホルダー：鉄（塗装仕上げ）
 アーム：AES樹脂 / 鉄（塗装仕上げ）
 本体：AES樹脂 / 鉄（塗装仕上げ）
 本体固定ネジ：鉄

※上記仕様などは改良のため、予告なく変更する場合があります。

株式会社 川口技研

〒333-0844 埼玉県川口市上青木 1-14-41 TEL 048-255-5411 FAX 048-255-8228 <https://www.kawaguchigiken.co.jp/>

TM-0440-01 25.12

取付説明書

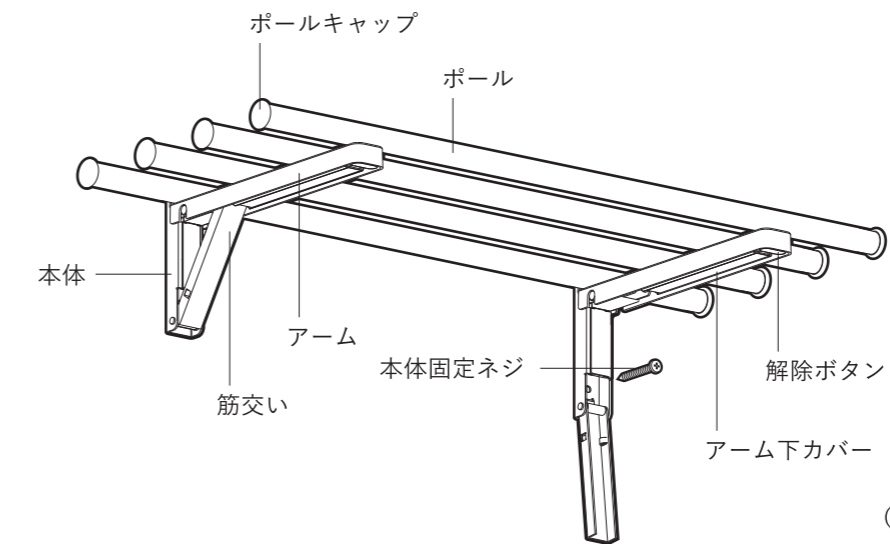
TOOLOOS®

W-70

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。取付け前に本書をよくお読みのうえ、手順に従って安全に注意し、正しく取付けてください。

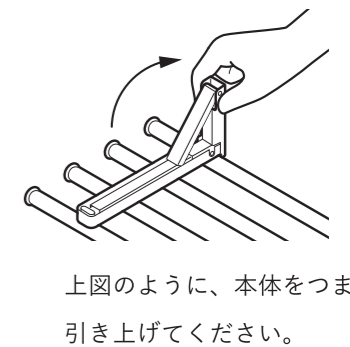
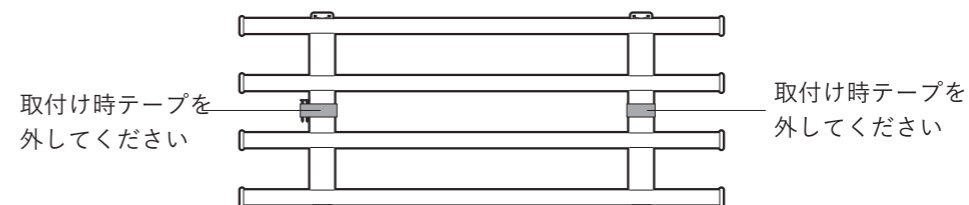
取付けは製品の落下や事故を防ぐために、建築構造を理解された施工業者様が行ってください。

各部名称

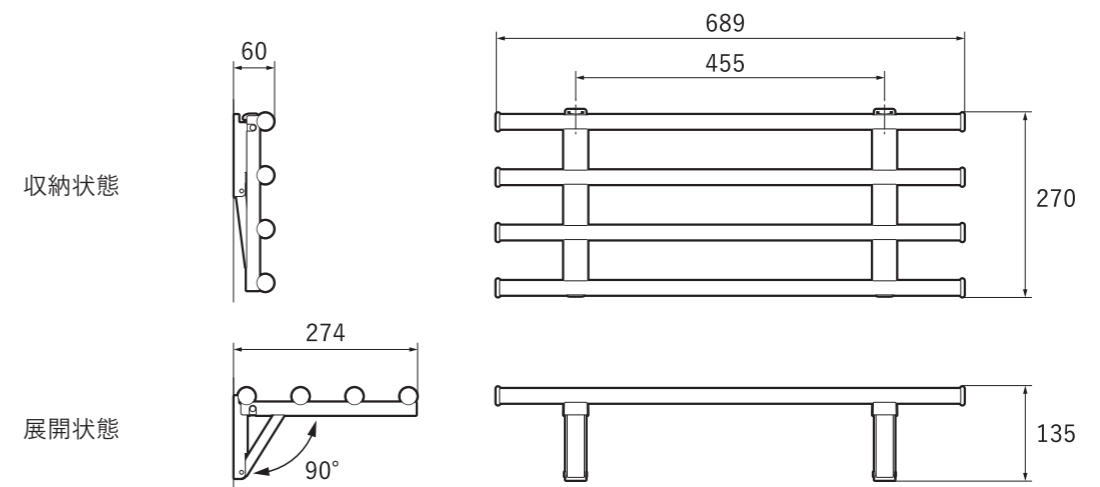


梱包内容

- ・本体 x 1
- ・ホルダー x 2
- ・本体固定ネジ x 6
- ・取付説明書（本書） x 1
- ・取扱説明書（保証書同梱） x 1



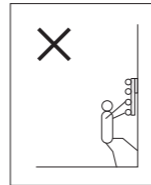
寸法図（単位：mm）



取付け上の注意

警告 「取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される内容」です。

- ・暖房器具やベビーベッドの近くなど、落下すると危険な場所には取付けないでください。
(落下すると、火災やケガ・破損の原因となります。)
- ・湯沸かし器の近くには取付けないでください。
(吊り下げた衣類が湯沸かし器に近づくと火災の原因となります。また、湿気や熱により製品が腐食する恐れがあります。)
- ・石こうボードのみ・軽鉄材・コンクリート壁には取付けないでください。
(十分な強度が得られず、製品が落下する原因となります。)
- ・ポールがはしごのようになる恐れのある場所には取付けないでください。
(子どものよじ登り、転落等の事故の原因となります。) ※右図参照
- ・子どもの目の高さ以下には取付けないでください。(ケガの原因となります。)



注意 「取扱いを誤った場合、傷害を負うこと又は物的損害の発生が想定される内容」です。

- ・屋外や浴室など直接水のかかる恐れのある場所には取付けないでください。
(錆の原因となります。必ず室内に取付けてください。)
- ・製品を分解、改造しないでください。(故障の原因になります。)
- ・操作時、取付け時は、指はさみ等に注意してください。

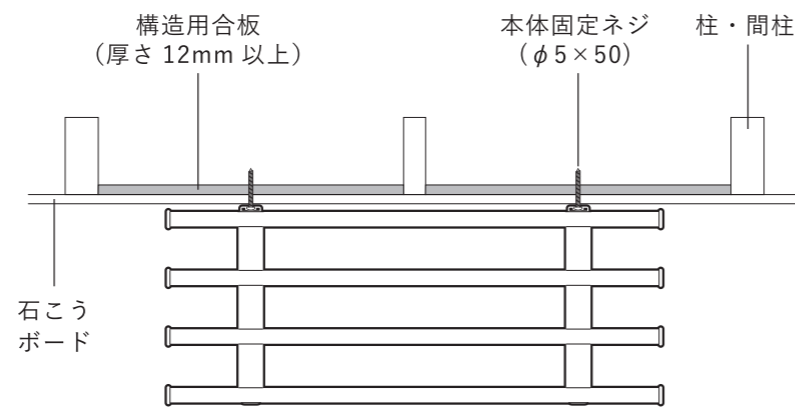
取付場所の確認

取付け前に、お施様のご希望または工事の設計仕様をご確認のうえ、取付位置を決定してください。

構造用合板などによる壁下地材の補強

建築前に、あらかじめ住宅設計に組み込む場合は、事前に本製品を取付ける箇所を、構造用合板(厚さ12mm以上)などで補強すると、次のようなメリットにより安心してご使用いただけます。

- ・柱の位置に左右されず、自由な位置に取付けられます。
- ・本体固定ネジが柱から外れたり、柱を割ったりするトラブルが避けられます。 ※右図参照

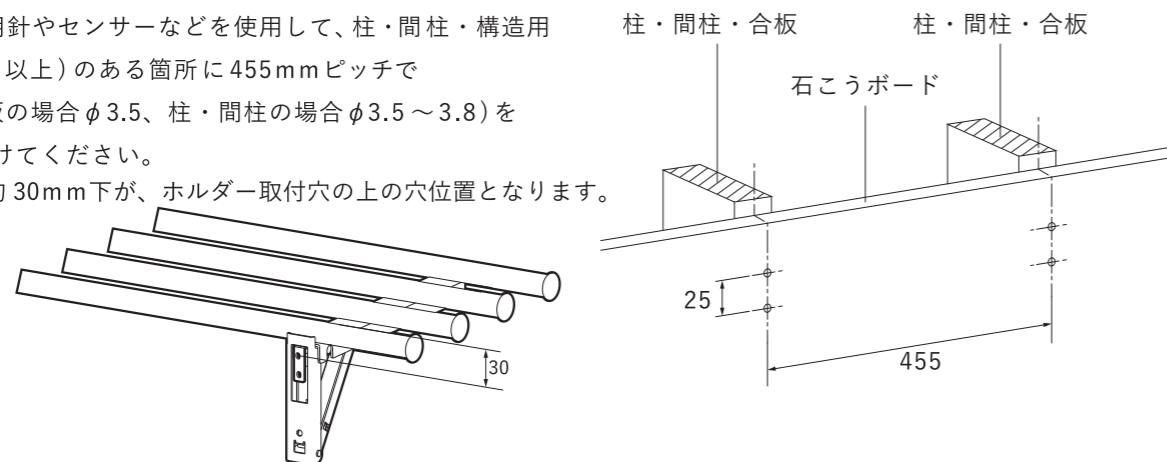


取付方法

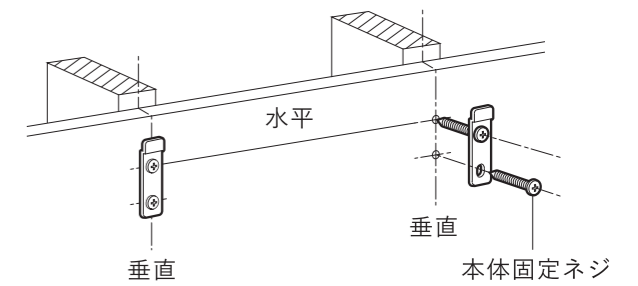
1. ホルダーの取付け

※電動ドライバーなどで取付ける際に、製品に傷が付かないように注意してください。

- ①市販の下地探し用針やセンサーなどを使用して、柱・間柱・構造用合板(厚さ12mm以上)のある箇所に455mmピッチで下穴(構造用合板の場合φ3.5、柱・間柱の場合φ3.5~3.8)を正確に4箇所あけてください。
※ポール上部より約30mm下が、ホルダー取付穴の上の穴位置となります。



- ②右図のように開口部を上にしてホルダーを左右の水平/垂直を見ながら、本体固定ネジで取付けてください。必ず付属のネジを使用してください。
電動ドライバーは本体固定ネジの締め終わりの手前4~5mmで止め、その後は、手回して感触を確かめながらネジを締めてください。

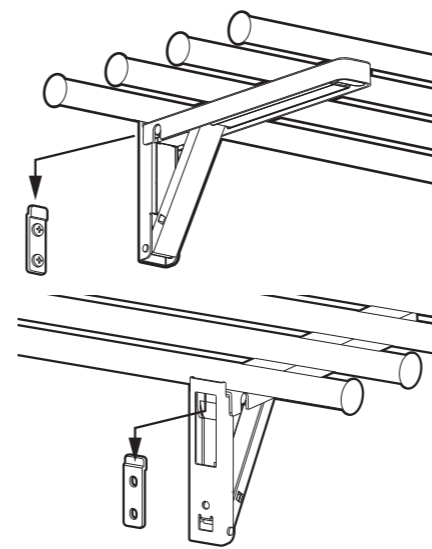


2. 本体の取付け

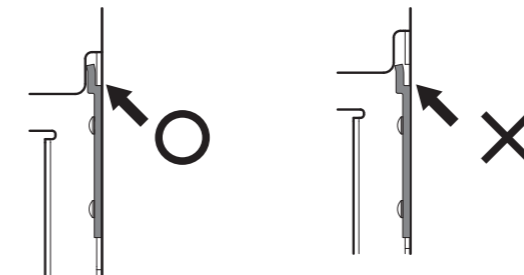
※本体は、展開状態で取付けてください。

- ①1で取付けたホルダーに本体を上から乗せるようにして引っ掛けてください。

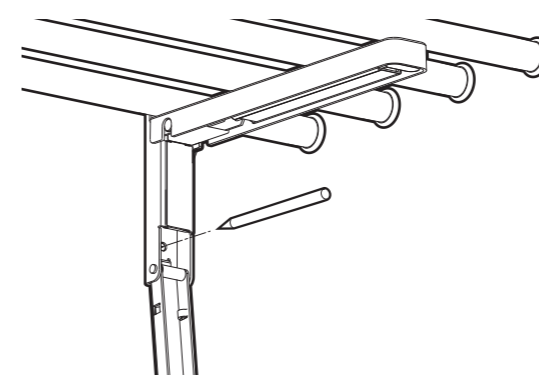
ホルダーに本体を引っ掛ける



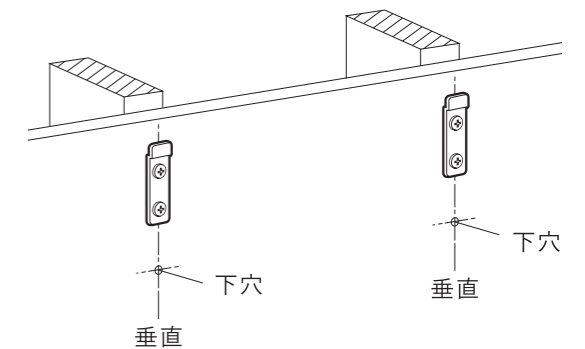
- ②引っ掛けたあと、本体を手前に引き、外れないことと、本体の水平を確認してください。



- ③ポールを上を持ち上げた状態で片側の筋交いを下げて、本体の穴の位置に下穴用のマーキングを行ってください。必ず、片側ずつ行ってください。

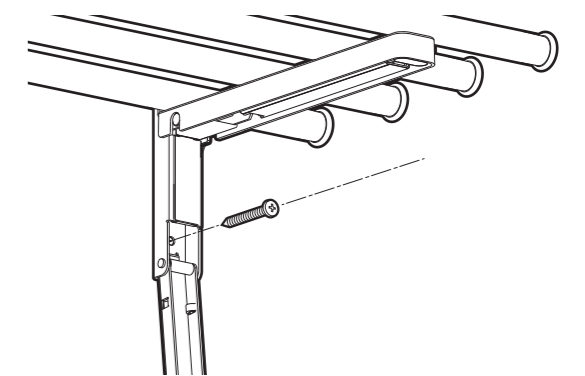


- ④一度本体を外し、マーキングの位置に下穴(φ3.5~3.8)を正確にあけてください。



- ⑤再度①、②を行いポールを上を持ち上げた状態で片側の筋交いを下げて、本体の穴と下穴の位置が合っている事を確認し本体固定ネジで取付けてください。必ず、片側ずつ行ってください。

下穴と本体の穴が合っていることを確認してネジ止め



- ⑥片側取付け後、ポールを上げ、ネジを止めた側の筋交いが溝に入った事を確認してから反対側の筋交いを下げて、本体固定ネジを取付けてください。

